

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員協議会活動費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 038	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	地域ぐるみ市民ぐるみの健康づくり運動の推進。ヘルスアップ教室開催、地区での健康づくり活動の推進、市の保健活動への協力、研修会、講演会等開催、国保等の大会・研修会参加			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	保健推進員協議会活動費補助金	保健推進員協議会	・ヘルスアップ教室 16地区 ・ウォーキング教室 16地区 ・研修会・講演会の開催 ・国保等の大会・研修会参加	ヘルスアップ教室開催 16地区 25回 555人 ウォーキング教室 16地区 19回 441人 研修会・講演会の開催 2回 前期182人 後期164人 国保等の大会・研修会参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	352	352	352	347	
人件費	2,832	153	1,072	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,184	505	1,424	1,241	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標 コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	ヘルスアップ教室の参加者数	526人	405人	692人	555人	地区交流センターとの協働 など地域住民への周知が 浸透してきた
03	保健推進員になり、役に立っ た(よかった)と思う人の割合	67.5%	77.5%	83.8%	72.0%	役に立った(よかった)と思 う保健推進員数÷アンケー ト提出数×100
04	参加者数一人当たりコスト	6,053円	1,246円	2,057円	2,236円	フルコスト/ヘルスアップ教 室参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

☒ A. 順調

☐ B. 概ね順調

☐ C. 遅れている

達成状況の分析

事業の目的に沿って順調に遂行している。

問題点・課題等

任期が2年のため、改選期に周知や運営が滞るところがあり、サポートが手厚く必要なところがある。

1. 直接的な受益者の範囲

☒ 不特定多数に及ぶ

☐ 特定されるが多数に及ぶ

☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

☒ 大きな不利益やリスクが生じる

☐ ある程度の不利益やリスクが生じる

☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

☒ 類似の事業はない

☐ 類似の事業はあるが競合はない

☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

☒ ニーズが高まっている

☐ ニーズは変わらない

☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

☐ 順位が高い

☒ 順位が中程度

☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

☒ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

☐ 先進的またはユニークな事業である

☒ 他と同程度の事業である

☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

☒ 民間委託等の拡充は難しい

☐ 民間委託等の拡充が十分に可能

☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

☒ 今以上の効率化や改善は難しい

☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能

☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小
☐ IV. 廃止・休止
☐ V. 完了